

代表質問事項一覧

3月 7日 (月)

日	質問者	質問方式	質問概要
代表質問 (第1日) / 7日 (月)	林 (新風会・公明)	一括質問・答弁方式	<p><b>1 令和2年国勢調査結果と少子化対策について</b></p> <p>杉本福井県知事が2月定例会県議会において、日本一幸福な子育て県「ふく育県」を宣言した。大野市最大の課題と位置付ける人口減少対策はこれまでも対策が取られてきたが、中でも少子化対策、子育て環境の充実が自治体間の差が移住定住にも大きく影響することから、教育環境の充実を含めて最重要課題である。</p> <p>昨年11月に公表された令和2年国勢調査における本市の人口は、3万1,286人であり、5年前と比較して1,823人、率にして5.5%減少した。特に総人口に占める15歳未満の割合は10.8%となり、福井県内9市で最低となった。平成21年以降、220人前後で推移していた出生数は、令和4年は150人を切るのではないかと危惧している。</p> <p>子育て世代に重点を置いた移住定住の取り組み促進と、費用面、手続き面などあらゆる面における子育て世代の負担軽減策をセットに、さらに大野市独自の特長ある施策を展開すべきであることから、次の点について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和2年国勢調査結果をどう受け止めているのか。</li> <li>○ 令和4年度一般会計予算案における少子化対策の規模と大野市独自の特長ある施策は何か。また、特に子育て世代のニーズの高い遊び場整備を福井県が支援するとの方針を受けて、本市での整備はいつ、どこで実施するのか。</li> <li>○ 同じくニーズの高い放課後等の子どもの居場所づくりに関して、昨年の決算特別委員会並びに12月定例会人口減少対策特別委員会での議論の中で、令和4年度は長期休業中限定で「学校の空き教室等を活用し、まずは1カ所実施していきたい」との答弁があり、議会としても大きく一歩踏み出したと評価したが、令和4年度予算案に計上されていない。その理由は何か。 また放課後児童クラブは、要件が厳しく預けられない家庭があることや、児童センター本来の目的である自由来館した子どもの健全育成の場を提供できないといった現状がある。学校には空き教室があり、特に低学年の放課後の居場所として保護者の安心につながり、仕事との両立が図れると思うが、改善する予定は。</li> <li>○ 高校卒業後に地元で働く若者や採用する企業への支援、Uターンを目的とした大学進学者等への奨学金制度は、誇れる大野市独自の施策であり評価が高かった。復活を求める声が多くあるが、考えは。</li> </ul>

日	質問者	質問方式	質問概要
代表質問（第1日）／7日（月）	林（新風会・公明）	一括質問・答弁方式	<p><b>2 より良い教育環境と生きる力について</b></p> <p>令和6年4月に中学校を2校に、令和8年4月に小学校を7校とする大野市小中学校再編計画が昨年末に改訂された。再編を進めるに当たり設置される校区ごとの準備委員会で議論するテーマと市教育委員会としてあらかじめ方針を定めて議論するテーマがあることから、子どもたちのより良い教育環境を整えるとともに、生きる力を育てる教育の観点から質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 再編後の中学校における部活動の設置方針はいつどのような形で決定する予定か。また再編後を見据えて、部活動における交流や地域移行も含めた活動の場の確保が重要となるが、市教育委員会の考えは。</li> <li>○ 再編対象となる小学校において設置される校区ごとの再編準備委員会は、いつどのような形で設置される予定か。また、テーマや構成メンバーなど、公民館を単位として地域課題検討を進める地域づくり部との内部協議の状況はどうか。区長など関係者への周知は。</li> <li>○ 既存校舎を活用する方針で再編計画が進められる中、校舎の長寿命化判断は、いつどこで行う方針か。また、令和4年度当初予算案「小中学校施設改修事業」における調査と実施設計の概要は。</li> <li>○ 民法改正により本年4月から成人年齢が18歳に引き下げられる。18年教育を掲げる大野市において、大野で学び育った子どもたちが契約トラブルなどに巻き込まれないような教育、万が一巻き込まれた際に対処できる支援体制が必要だが、法改正に伴い18歳、19歳となる年代への啓発はどうしているのか。また、今後成人となる中高校生に対する消費者教育の方針は。</li> </ul>

令和4年3月 第427回 大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
代表質問（第1日）／7日（月）	林（新風会・公明）	一括質問・答弁方式	<p><b>3 新型コロナウイルス感染症と経済対策について</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症は、変異を繰り返しながら、日本における初確認から2年を経過した現在も猛威を振るっている。誰もがかかる可能性があり、感染確認された方やその家族、勤務先、医療・介護従事者等に対する誹謗（ひぼう）中傷や差別的言動は決してあってはならない。</p> <p>令和4年に入り、1月13日に福井県感染拡大警報が出され、大野市でも感染拡大地域との往来自粛の呼び掛けや観光誘客イベントの中止など、市民や観光客の行動を制限したが長期化していることにより、地域経済に大きな影響が出ている。</p> <p>そこで質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人流抑制により大きく影響を受けた業種に対する大野市独自の対策状況と効果をどう分析しているのか。 また感染拡大により例年以上に消費が低迷した冬季において、消費喚起策を追加実施しなかった判断理由は。</li> <li>○ 本年度実施された「越前おおのプレミアムお買物券事業」が3月補正予算で8,716千円減額されている。予算に対する執行率と業種ごとの利用実績、取扱店として登録したが利用のなかった店舗は何店舗あったのか伺う。 また令和4年度予算案に計上されている「ふくいデジタルバウチャー実施事業」21,429千円における事業概要と利用店舗数、経済効果の見込額、臨時事業とした理由は。</li> <li>○ 国の令和3年度補正予算において措置された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の本市における交付限度額とその使途、今後の経済対策について伺う。</li> </ul>

日	質問者	質問方式	質問概要
代表質問（第1日）／7日（月）	林（新風会・公明）	一括質問・答弁方式	<p><b>4 官民連携した地域内経済循環率の向上策について</b></p> <p>新たに策定した「越前おおの産業ブランド力向上戦略」において、大野市の2015年の地域内経済循環率は福井県内9市最低の65.4%であったことが示されている。15歳から64歳までの生産年齢人口の急減が予測されており、消費低下が危惧されるとともに、企業は人材不足が顕著であり、観光客を受け入れ外貨を稼ぐ取り組みも急務である。</p> <p>行政は人材育成を含めた事業者との連携が必要であり、観光地周辺公共施設の民間活用促進、地元企業にメリットがある企業の誘致、エネルギー自給率を高める施策など、選択と集中による投資が求められる。</p> <p>また、職員自らが地元での消費拡大の行動を起こすこと、予算執行に当たっても物件費や需用費、役務費において市外事業者への安易な支出を改めることが循環率向上に寄与すると考える。そこで質問する。</p> <p>○「越前おおのブランド戦略」の目標設定のうち、地域ブランド調査による令和3年度の認知度（863位）、魅力度（908位）が急低下した結果をどう評価・分析したのか。</p> <p>○ 中部縦貫自動車道の開通効果を観光に生かすため、大野インターチェンジから（仮称）和泉インターチェンジ区間における令和4年度末の開通を見据えた予算はどのように措置したのか。</p> <p>また、新たに策定した「越前おおの産業ブランド力向上戦略」の数値目標、令和8年度における宿泊者数15万人、観光入込客数350万人の積み上げはどのように行ったのか。</p> <p>○ 令和2年度から福井県と大野市で検討を進めてきた六呂師高原の活性化について先月、市民意見の募集とともに「六呂師高原活性化構想（案）」が公表された。県や市の公共施設、民間施設も多く立地しており、アウトドア観光によりエリア一帯の価値を高めるためにはプレイヤーが重要となる。</p> <p>提案理由によると、新年度、福井県において民間事業の参入可能性の検討が進められる予定とのことだが、公募から整備にかかるスケジュールは。また構想実現に向けて大野市は協力するとのことだが、どういったスタンスで臨むのか。</p> <p>○ 人が担わなければならない仕事に対する人材確保や処遇改善は、持続可能な大野市づくりに官民一体で取り組む必要がある。</p> <p>そのような中、改訂作業の進む大野市公共施設等総合管理計画～大野市公共施設再編計画編～において「現状維持」とした大野市職業訓練センターで行っていた講座を廃止し、生涯学習センターに集約した上で職業訓練センターの管理を（一財）越前おおの農林楽舎が担う方針が示され、一部関係予算が計上されたが、企業が求めるニーズに生涯学習センターや（一財）越前おおの農林楽舎がどう応えられると考え、今回の方針を示したのか。</p> <p>また、ゼロカーボンシティを宣言した大野市において森林の整備・管理は中長期の視点で取り組む必要があり、長いスパンでの人材育成に森林環境譲与税を重点的に配分するなど市の考えは。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
代表質問（第1日）／7日（月）	林（新風会・公明）	一括質問・答弁方式	<p><b>5 持続可能な行政運営と行財政改革について</b></p> <p>令和4年度予算では、新型コロナウイルス感染症流行前の税収水準への回復や令和2年国勢調査確定値に基づく人口減少下において地方交付税の増を見込む一方、地方交付税の不足分を補う臨時財政対策債を除く投資的経費に充当する地方債借入の増、財源不足を補う財政調整基金を4億9,500万円繰り入れることにより、歳入を確保した予算となっている。</p> <p>大野市の財政状況はこの10年で悪化している。平成22年度からの10年間における経常経費は繰出金、物件費、扶助費が決算ベースでそれぞれ3億円以上増加した一方、その経費を補う経常一般財源は地方消費税交付金が2億3,000万円増加したのみであり、地方税も地方交付税も微減となっている。</p> <p>また、財政診断指標の一つである「実質債務月収倍率」は、一般会計における地方債現在高が1億6,500万円増加した一方で積立金が36億円余り減少したことにより実質債務が悪化。これに特別会計や企業会計の地方債現在高が加わるとさらに影響が懸念される。</p> <p>自主財源が全体の3割しかない本市において、行財政改革は喫緊の課題であり待ったなしの状況である。市民も事業者も大野市の財政状況には非常に危機感を持っている。</p> <p>改訂作業中の大野市公共施設等総合管理計画～大野市公共施設再編計画編～では、今後10年間で計画に沿って取り組むことで維持管理費を1億円削減できると試算し、再編の効果と位置付けているが、目標以上の再編を進める必要がある。</p> <p>そこで質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 施設の方向性「譲渡」予定の15施設について、土地建物の有償無償の判断基準、借地の取り扱いは。議会や市民、利用者等関係者にどのタイミングで説明していく予定か。</li> <li>○ 使用料収入は貴重な自主財源であり、公共施設の維持と密接に関わってくる。越前大野城と二つの武家屋敷、和泉郷土資料館による文化施設入館料で前年度比846万円の増額を見込む一方、予算全体では約600万円の減額見込みとなっている。そのような中、歳入見込額を超える経費をかけて利用者の増加を目指す施設が幾つか見られ、予算案が計上されているが、財政状況が厳しい中、行政経営の観点でどのような調整が行われたのか。</li> <li>○ 新型コロナウイルス感染症の流行や災害の発生など、危機対応時には機動的な財政出動が求められるが、財源不足を補う財政調整基金を取り崩した予算を組むと、スピード感を持った行政運営ができない。予算編成に当たっては、基本方針を示して部局長に指示したとの市長答弁があり、今回の予算案が示されたが、新規・拡充事業数と一般財源ベースでの増額分、スクラップアンドビルドを前提とする中で廃止した事業数と一般財源ベースの減額分は。</li> </ul>

令和4年3月 第427回 大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
代表質問 (第1日) ／7日 (月)	林 (新風会・公明)	一括質問・答弁方式	<p>○ 行財政改革の基本は大野市職員の意識改革と危機感の共有であり、これまで失われた信頼を取り戻すためにも、常に市民ニーズを捉えた予算編成や市民の立場に立った事務執行を行う職員力が求められる。</p> <p>大野市行政改革推進プラン2021がスタートして1年がたつが、目標数値の達成状況はどうか。</p> <p>同プランに掲げる項目のうち、自主財源確保に向けたガバメントクラウドファンディングは議会でも強く実施を求めているが、実施予定は。</p> <p>また、給与費明細書によると正職員の時間外手当が大幅に増額となり心身の状態を心配する。現場を支える会計年度任用職員は職員数の減が見込まれ人員確保が求められる中、職員の適正な人員配置としてどこに重点を置いていく予定か。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
代表質問（第1日）／7日（月）	堀田（清風会）	一括質問・答弁方式	<p><b>1 令和4年度当初予算編成について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 石山市長が強く推し進めている三つの重点プロジェクトや各施策パッケージなどについて、見えてきた新しい課題の解決をどのように捉え、特徴ある施策としてバージョンアップし、新年度当初予算に反映されたか伺う。</li> <li>○ 行財政改革は喫緊の課題であり、待ったなしの状況であると感じている。現在の市の財政状況と将来にわたる健全財政の維持について、どのように考え新年度当初予算を編成されたか伺う。</li> </ul>
			<p><b>2 第六次大野市総合計画・第2期大野市総合戦略などについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第六次大野市総合計画の将来像の実現に向け、前期基本計画の2年目となる。1年目の取り組み状況と評価は。また第六次大野市総合計画や第2期大野市総合戦略、またSDGsの市民への浸透と受け止めはどうかを伺う。</li> </ul>
			<p><b>3 新型コロナウイルス感染症対策について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナウイルス感染症の影響により物価高騰、ガソリン価格高騰の中、ロシア軍のウクライナへの侵攻により日本の国民生活などへの影響が危惧される。コロナ渦が長期化し、さらなる生活への不安が付きまとう中で、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金はどれくらい限度額があるのか。また今後の活用について、石山市長の考え方を伺う。</li> <li>○ 教育長は所信表明で、子どもたちの健全な心と体の保持に全力を挙げると述べられたが、新型コロナウイルス感染症は幼保・小中高校生への感染が広がっている。新型コロナウイルス感染者へのメンタルケアはもとより、いじめにつながるよう対応・対策をどのように講じてきたか。また園や学校への支援や感染者の家庭への生活支援はどうであったか伺う。</li> </ul>
			<p><b>4 新しい時代の学び舎づくりについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新年度当初予算に新しい時代の学び舎づくりとして、小中学校再編計画推進事業、小中学校施設改修事業、いきいきわくわく学習事業が新規事業として掲載されている。それぞれの事業内容と目的、またスケジュールを伺う。</li> </ul>
			<p><b>5 幹線道路網等の整備について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中部縦貫自動車道県内全線開通、国道158号の早期改修など幹線道路網の整備は大野市民にとって悲願である。令和4年度末の（仮称）和泉インターチェンジまでの開通、また北陸新幹線金沢・敦賀間の令和5年度末の開業を控え、準備を整えていかなければならない。一日も早い中部縦貫自動車道の全線開通、国道158号の早期改修に石山市長の意気込みを聞く。</li> </ul>

日	質問者	質問方式	質問概要
代表質問（第1日）／7日（月）	堀田（清風会）	一括質問・答弁方式	<p><b>6 越前おおの産業ブランド力向上戦略について</b></p>
			<p>○ 戦略に関係する「越前おおのブランド戦略」「越前おおの観光戦略ビジョン」では目標を達成した項目がない。 策定された「越前おおの産業ブランド力向上戦略」の目標を達成するため、どのように積極的に取り組んでいくのか、石山市長の意気込みを聞く。</p>
			<p><b>7 地域公共交通について</b></p>
			<p>○ 越美北線やまちなか循環バス、乗合タクシーなども含めての利用拡大に向け、施策を講じている。 今までの実績を踏まえ、利用拡大に向けどのような施策を新年度当初予算に反映されたか伺う。</p>
			<p><b>8 農業・林業行政について</b></p>
<p>○ 農業・林業従事者の高齢化が進み、後継者不足にも悩まされる中、今後さまざまな農業振興施策が展開されていくが、農業・農村・林業という素晴らしい財産を守り、後世に誇りを持って残していくための石山市長の考えを伺う。</p> <p>○ 大野市の園芸農産物について、農業の省力化と作業負担の軽減、ICT、AIを活用したスマート農業、さらには鳥獣害対策などに積極的に取り組む必要がある。新年度当初予算に鳥獣害のない里づくり推進事業の拡充やサトイモ園芸タウン事業が新規事業として計上されているが具体的な取り組みについて伺う。</p>			
<p><b>9 脱炭素・再生可能エネルギー社会の実現について</b></p>			
<p>○ 新年度に大野市脱炭素ビジョンを策定していくとのことだが、市民や団体・企業が理解し協働できるビジョンとなるよう、大野市の脱炭素社会の将来像を意識しながら取り組んでいく必要があると考える。本年度の取り組みの評価とビジョン策定の考え方を伺う。</p> <p>○ 木質バイオマス発電所は、大気中の二酸化炭素濃度に影響を与えないというカーボンニュートラルの特性を有する。化石燃料の代わりに木材を利用することにより、二酸化炭素の排出の抑制が可能となり、地球温暖化防止に貢献する。 以前にも議論があったが、この発電所からの廃熱を利用することでエコの構築等につながると考えるが見解を伺う。</p>			



日	質問者	質問方式	質問概要
代表質問 (第1日) / 7日(月)	堀田(清風会)	一括質問・答弁方式	<p><b>10 デジタル化について</b></p> <p>○ デジタル技術の導入・運用は、持続可能な社会となるよう地域の個性を生かしながら、そしてデジタルを活用することにより地域の課題解決や魅力向上に取り組む必要がある。</p> <p>どのように各システムを効率よく活用し、課題解決や魅力向上につなげていくのか。またデジタル技術を活用していく上で人材の確保や育成、利用する高齢者への対応などをどのように考えているのか伺う。</p>
			<p><b>11 防災・減災対策について</b></p> <p>○ 近年、異常気象によると思われる豪雨や台風、また豪雪などの気象災害により全国各地で大きな被害が出ており、大野市においてもこのような災害に見舞われることが危惧される。</p> <p>頻発する自然災害にどのように対処し、防災・減災につなげ、市民の増大する不安の解消に努めていくか伺う。</p>
			<p><b>12 健全な水循環と環境保全対策について</b></p>
			<p>○ 昨年9月以降、記録的に降雨が少ない天候が続き、地下水位が急速に低下した。また、一級河川清滝川や木瓜川が渇水し、環境への影響も大きかったことは記憶に新しい。</p> <p>全国でも数少ない地域特有の地下水の持続可能な保全と利用、また環境との調和に対するマネジメントをどのようにしていくのか所見を伺う。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第1日) / 7日 (月)	ダニエル (無党派)	一括質問・答弁方式	<p><b>1 石山市政全般を振り返って</b></p> <p>石山市政が始まって3年9カ月が経過した。当選時に北陸3県初の女性首長ということで注目を浴びたことがつい最近のここのように思える。人口減少、過疎化、高齢化、経済の低迷が続く大野市政のかじ取りは決して簡単ではないと推測するが、今回は市政に関する課題の根幹の部分について、質問させていただきたい。</p> <p>○市職員による不祥事が続発したことについて  石山市長在任中、特に目立ったのは市職員による不祥事が続発したことだった。県内の他市町に比べて、あまりにも頻度が高かったと思う。  私が推測するに、大野市役所内に昔から特異な体質があり、それが石山市政の時に不正行為がまとめてあらわになったのではないかと。  なぜ大野市で不祥事が続発したのか、そして今後本当に再発防止ができるのかについて、元市職員でもある市長から、市民にいま一度説明をお願いしたい。</p> <p>○「大野市政＝ハコモノ行政」イメージの払拭について  大野市政はいわゆる「ハコモノ行政」を推し進めてきたと多くの市民が感じているようである。不要なハコモノ建設に巨額な費用をかけ、その維持費のために毎年何千万円も捻出するといった習慣が大野市の財政を圧迫してきたことは否定できない。  大野市は決して財政が豊かな自治体とは言えない。私見ではあるが、限りある予算の中で優先順位をハコモノ建設から教育や福祉にシフトすべきではないかと。  もし石山市長が市民の負託を受けて2期目を任されることになったら、「大野市政はハコモノ行政」と市民から見られていることについて、どのように対応していくのか伺いたい。</p> <p>○市民とのコミュニケーションについて  市長のみならず議員もそうだが、一般市民にとって私たちがどういう思いで仕事をしているのか見えにくいと感じている。  その中で石山市長がヘルスウォーキングプログラムの宣伝を自ら動画で行っていたのは良いと思った。SNSは広報手段として費用対効果が抜群なので、今後も積極的に利用してはどうだろうか。  また、国内の幾つかの自治体では首長自らタウンミーティングを頻繁に開催し市民と直接対話を図っている。  市長のみならず、副市長も含めて市のトップが住民としっかり向き合い、メッセージを届ける機会を増やせば、市政の透明化がより進むのではないかとと思うが、市の見解を伺いたい。</p>

令和4年3月 第427回 大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第1日) ／7日 (月)	ダニエル (無会派)	一括質問・ 答弁方式	<p>○人口減少を食い止める可能性について</p> <p>人口減少も大野市にとって重要な課題である。毎年500～600人の人口減少となっている大野市において、仮にこのままのペースで減れば、50年後には大野市の人口がゼロになる。</p> <p>多くの自治体が人口減少という難題を抱えており、大野市でもさまざまな子育て支援や移住定住対策を実施してきた。しかし、人口増加に転じることはなさそうである。</p> <p>大野市における人口減少は不可避なのか、それとも2期目は斬新な施策で人口減少を食い止めることができるのか、市長の見解を伺いたい。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第1日）／7日（月）	白崎（新風会・公明）	一括質問・答弁方式	<p><b>1 20歳のつどいについて</b></p> <p>民法改正により2022年4月から成人年齢が18歳に引き下げられ、これまでの成人式を「20歳のつどい」として開催されるに当たり、以下について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和4年度中に20歳を迎える方を対象に調査を実施したとのことであるが、調査内容及び調査結果はどのようになっているか。</li> <li>○ 調査結果を受けて、20歳のつどいの開催時期はいつごろを予定しているか。</li> <li>○ 開催に当たり、これまで開催してきた成人式から変わる点はあるのか。</li> <li>○ 令和3年度当初予算の成人式事業1,169千円に対し、令和4年度当初予算の20歳のつどい開催事業1,319千円と若干増額となっているがその原因は何か。</li> </ul>
			<p><b>2 オンライン授業の実施状況について</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症のオミクロン株の感染拡大の中、県立高校入試を控えた中学校3年生が2月14日、15日にオンライン授業を実施したが、その状況も含めて以下について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市内の小中学校でのオンライン授業の実施状況はどのようになっているのか。</li> <li>○ オンライン授業の実施に当たり保護者等への負担は生じるのか。</li> <li>○ 教員が自宅等からオンライン授業を実施した事例はあるのか。実際に教員が出勤できない場合にそのような対応は可能か。</li> </ul>
			<p><b>3 公民館の現状と活用について</b></p> <p>令和3年度の機構改革により、公民館の所管が教育委員会から地域づくり部となり1年を経過しようとしている。公民館の現状と活用について以下について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公民館を地域づくりの拠点とするとのことであったと思われるが、地域づくりの拠点とは具体的にどのようなものか。実際にどのようなことに取り組んでいるのか。</li> <li>○ 大野市生涯学習推進計画の基本方針3「学ぶ場づくり」の中で、公民館にも触れられているが、今後、地域づくり部と教育委員会は、どのように連携していくのか。</li> <li>○ 今後、夏休みなどの学校の長期休業中に公民館を小学生の児童にも開放し、自由に宿題や自主学習ができる場を提供してはどうか。</li> </ul>

一般質問事項一覧

3月 8日（火）

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第2日）／8日（火）	廣田（清風会）	一問一答方式	<p><b>1 大野市公共施設等総合管理計画について</b></p> <p>平成25年、大野市公共施設再編計画が策定されたのち、平成29年に大野市公共施設等総合管理計画が策定され、平成30年に大野市公共施設再編計画編が改訂、個別施設計画編を策定され、令和3年に個別施設計画編が改訂、令和4年に大野市公共施設再編計画編が改訂予定とされているが下記について聞きたい。</p> <p>① 大野市公共施設等総合管理計画で公共施設及びインフラ資産の施設情報を一元管理するとあるが、管理状況を聞きたい。</p> <p>② 平成25年大野市公共施設再編計画策定後、現在までの公共施設の再編実績について聞きたい。</p> <p>③ 令和4年改訂予定の大野市公共施設再編計画編（案）の公共施設再編目標について聞きたい。</p> <p>④ 公共施設及びインフラ資産の長寿命化、付随する設備や備品の更新等の経費をどのように試算しているのか聞きたい。</p>
			<p><b>2 道の駅「越前おおの 荒島の郷」について</b></p> <p>令和3年4月22日道の駅の日が開駅した道の駅「越前おおの 荒島の郷」が間もなく1年を迎えるが下記について聞きたい。</p> <p>① これまでの実績と今年度の実績見込みについて聞きたい。</p> <p>② 今年度の評価及び今後の課題について聞きたい。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第2日）／8日（火）	木戸屋（未来おおの）	一括質問・答弁方式	<p><b>1 公共交通や他の交通確保について</b></p> <p>J R 越美北線は、昨年10月から減便された。コロナ禍で経営悪化が続いている。J R 西日本は、その後も一日の乗車人数が2,000人以下の路線について、路線バスへの転換も見据えて、路線の在り方について地元と議論を深めると発表した。</p> <p>越美北線の2020年度の一日の平均乗車人数は260人である。越美北線は路線バスと共に必要な交通インフラである。また令和5年末、金沢～敦賀間の開通が予定されている北陸新幹線の観光誘客の二次交通として期待される場所である。</p> <p>さらに、2月28日の市長の提案理由説明にあったように「持続可能な交通ネットワークづくり」は重要な施策である。</p> <p>そこで、次の点について質問をする。</p> <p>① 越美北線の今後の在り方について、市長はどのように考えているのか。</p> <p>② 越美北線が存続するために乗車人数を増やすことがまず重要なことであるが、どのような取り組みをするのか。</p> <p>③ 市長の提案理由説明の中の「地域の助け合いによる新しい公共交通の実証実験」とは、どのような取り組みなのか。</p>
			<p><b>2 「大野市公共施設等総合管理計画～大野市公共施設再編計画編～」について</b></p> <p>市は、令和4年3月に「大野市公共施設等総合管理計画～大野市公共施設再編計画編～」を改訂する。人口減少が進む中、限られた財源で多くの公共施設を維持管理することが困難であることは、私たち市民も理解できる。どんな施設をどのように残し、どんな施設をどのように廃止するかを客観的に判断することは大切である。また、その過程の中で、市民、地域住民に丁寧に説明し、議論をし、共通理解を持つことは、市民と行政の信頼関係を築くことにつながる。</p> <p>そこで、次の点について質問をする。</p> <p>① この計画の基本的な考え方は、どのようなものか。</p> <p>② 「公共施設の方向性」について「現状維持」「譲渡」「見直し」などの文言が使われて分類されているが、特にこの三つの文言の定義は何か。具体例を挙げた説明を求める。</p>

令和4年3月 第427回 大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) ／8日(火)	高岡 (双葉会)	一括質問・ 答弁方式	<p><b>1 市長の政治姿勢について</b></p> <hr/> <p>○ 大野市におけるインフラ整備の現状と今後の取り組みを市長はどのように考えているのか。 市長が力を入れている大野市高速交通アクションプログラムなど。</p> <p>○ 県、市、モンベルで取り組んだ六呂師高原活性化構想(案)において、今まで市はどのように取り組まれてきたのか。 また、今後はどのように取り組んでいくのか。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第2日）／8日（火）	伊東（新風会・公明）	一括質問・答弁方式	<p><b>1 新型コロナウイルスワクチン接種について</b></p> <p>○ 新型コロナウイルスワクチンの3回目接種について、2回目までと異なるワクチンを打つ“交接種”に対し、市民の不安の声がある。                  そのような声に対し、本市ではどのように対応しているのか伺う。</p> <p>○ 5歳～11歳児へのワクチン接種について、小児の場合、ワクチンの接種後どのような副反応が見られるのか伺う。</p> <p>○ ワクチン接種後、幼児・児童・生徒に発熱等の副反応が見られた場合、保育所や学校の出欠について判断基準があるのか伺う。</p>
			<p><b>2 孤独・孤立対策について</b></p> <p>2021年12月28日、政府は孤独・孤立対策推進会議の初会合を開き、「孤独・孤立対策の重点計画」を決定した。                  重点計画では実態把握を早急に行い、24時間対応の相談窓口を整備し、支援情報をSNSなどでタイムリーに発信することを挙げている。また、人と人がつながりを実感できる居場所づくりの確保や孤独・孤立に陥っても支援を求める声を上げやすい社会になるよう国民一人一人に対して積極的な働き掛けを行うことを明記している。                  そこで、重点計画における本市の取り組み状況を伺う。</p> <p>○ 本市の孤独・孤立の実態と重点計画に挙げられた施策の実施状況は。</p> <p>○ 地域の子どもに無償または定額で食事や居場所を提供する「子ども食堂」。コロナ禍でその役割は一層増しており、今や子どもだけでなく大人や高齢者も集う「多世代交流の地域拠点」として位置付けられるようになっている。                  地域の居場所、つながれる場を増やし、それを支援していくことは、孤独・孤立を防ぐことになると考えるが、子ども食堂の取り組みに対する本市の支援方針は。</p>
			<p><b>3 犬、猫の適正飼養について</b></p> <p>単身世帯の増加や高齢化が進む中、ペットと暮らすことで人生をより豊かにできるという考えが広まりつつあるが、一方で近年問題になっているのが、ペットの数が飼い主の飼養能力を超えて破綻する“多頭飼育崩壊”である。またそれに伴い、悪臭や鳴き声など苦情も多く聞かれる。                  そこで、犬や猫の適正飼養について4点伺う。</p> <p>○ 犬、猫の適正飼養に向け、本市の取り組みを伺う。</p> <p>○ 市民からの苦情の状況とその対処は。</p> <p>○ 飼い主が病気や介護などで犬や猫の世話ができなくなった場合を踏まえた包括的な取り組みも必要と考えるが、市の見解を伺う。</p> <p>○ 飼い主のいない猫や地域猫対策として、不妊去勢手術費用の一部を助成してはどうか。</p>



一般質問事項一覧

3月 9日（水）

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第3日）／9日（水）	野村（日本共産党大野市議団）	一括質問・答弁方式	<p><b>1 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について</b></p> <p>①PCR検査・抗原検査体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検査体制や料金はどのようになっているのか。</li> </ul> <p>②新型コロナワクチン接種体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3回目の交接種の安全性について情報発信はどのように行うのか。</li> <li>・ワクチン接種の今後の予定と、ワクチンの供給体制は整っているのか。</li> </ul> <p>③家庭内での感染について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族全員が感染した時の支援体制はどのように行うのか。</li> </ul> <p>④宿泊療養施設について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の収容人数は確保できているのか。</li> <li>・入所者への対応はどのようになっているのか。</li> </ul>
			<p><b>2 市民・中小企業への支援について</b></p> <p>○市民の生活・暮らし、中小企業を助ける施策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で疲弊する市民に対する施策をどのように行うのか。</li> <li>・コロナ禍で疲弊する中小企業・個人事業主に対する施策はどのように行うのか。</li> </ul>
			<p><b>3 福祉灯油について</b></p> <p>○石油価格高騰に伴い福祉灯油の支援が必要ではないか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活保護世帯や低所得世帯、ひとり親、高齢者、障がい者等への福祉灯油の支給はどのように考えるのか。</li> <li>・民間の福祉施設への暖房費助成の状況は。</li> </ul>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第3日）／9日（水）	梅林（無党派）	一括質問・答弁方式	<p><b>1 第六次大野市総合計画及び各計画と財政運営について</b></p> <p>① 第六次大野市総合計画に基づく持続可能な財政運営を行うために、令和4年度当初予算（案）はどのような財政改善を組み込んだのか。</p> <p>② 下水道事業特別会計から企業会計に移行した効果は。</p> <p><b>2 健全な水循環による地下水の保全と利用について</b></p> <p>① 地下水保全条例改正の具体案は。</p> <p>② 地下水に影響を及ぼす可能性があると心配されている泉町地域の下水道整備における今後の予定は。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第3日）／9日（水）	廣瀬（新風会・公明）	一括質問・答弁方式	<p><b>1 令和6年度の中学校再編に向けた準備について</b></p> <p>大野市小中学校再編計画が改訂され、いよいよ令和6年度の中学校の再編に向けて動き出す。 再編に向けた今後2年間の準備について質問する。</p> <p>○ 再編後の部活動や生徒会活動、事前交流、スクールバスの運行や学用品についてなど、再編後の学校生活をどうするのかについては、どのように決めていく予定なのか。</p>
			<p><b>2 教職員の働き方改革の推進について</b></p> <p>先日の新聞記事によると、昨年5月時点で県内小学校7校で7人、中学校7校で7人、計14人の教員が不足していたそうである。 不足の理由としては、団塊世代の大量退職が続いた一方で、義務教育の学校現場の多忙化などが避けられ、志願者が減ったためとみられている。 教員の「質と量」の確保は、教育現場の喫緊の課題となっている。その解決のためには教職員の働き方改革をさらに推進し、教職の魅力を高める取り組みが必要と考え、以下の2点について質問する。</p> <p>○ 大野市で令和3年度中に教員不足はみられたのか。また産・育休取得者や病気休職者が出た場合の対応はどうしているのか。</p> <p>○ 教職員の働き方改革をさらに推進し、教職の魅力を高める取り組みをどのように進めていくのか。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第3日) ／9日(水)	榮 (日本共産党大野市議団)	一括質問・答弁方式	<p><b>1 ケア労働者の「処遇改善」について</b></p> <p>○ 政府が打ち出した今年2月からのケア労働者に対する「処遇改善」について、保育士等で自治体による対応のバラつきが指摘され、政府も急ぎよ事務連絡(2月17日付)を出し、今回の「処遇改善」は2月からの賃金改定が間に合わない場合は、2月分・3月分を後日の一時金支給も認めて自治体による完全実施を促していると聞くが、市長が決断されることで大野市では完全実施が可能になるのではないか。</p> <p><b>2 消防団員の報酬等に係る地方財政措置について</b></p> <p>○ 令和4年1月18日付通知「地域防災力の中核となる消防団の充実強化について」に基づいて、市町村の消防団員の報酬引き上げの条例改正を求めているが、その取り組みについて伺う。</p>